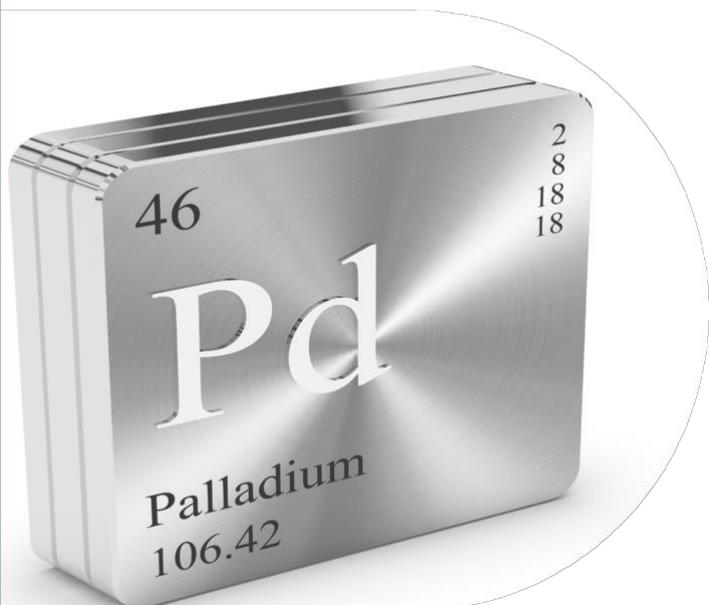


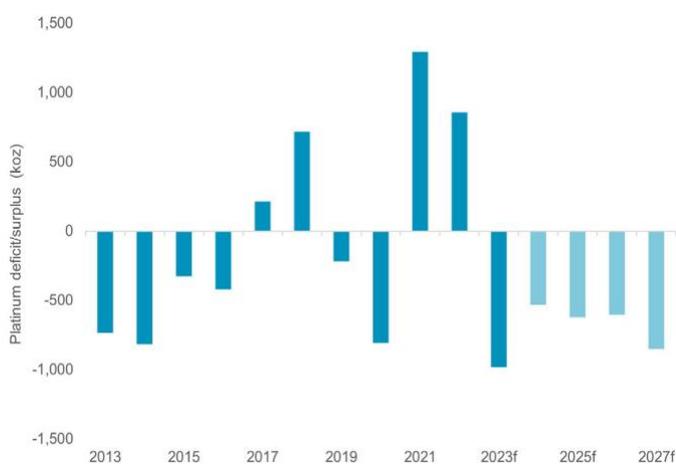
# プラチナを自由に



自動車触媒でのプラチナとパラジウムの互換性のおかげで、水素経済のためのプラチナは確保できる

プラチナは2023年から始まって2027年まで不足が続き、その量は26.5トンになるとされている。数年にわたる不足と、[自動車触媒に使われるパラジウムの代替としてのプラチナの需要](#)で、プラチナの地上在庫も縮小し、水素経済の発展が進む時代に、プラチナ市場はタイトになる。

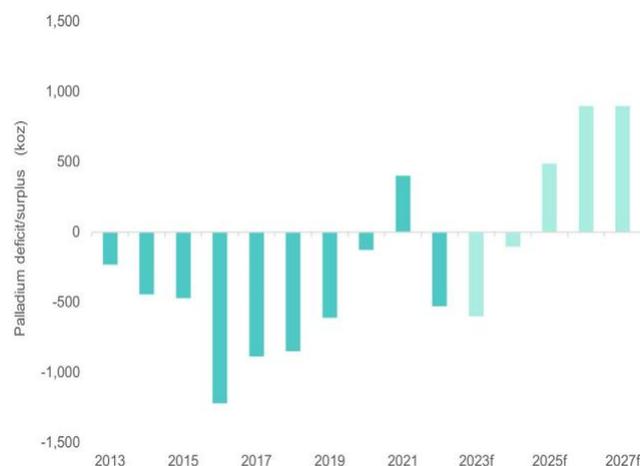
固体高分子膜 (PEM) 技術などの水素関連のプラチナ需要は現在まだ少ないが、今後は大きく伸びて、2030年までにはプラチナ需要の重要な分野となり、2040年までには最大の需要分野になる可能性もある。



プラチナは2023年から供給不足に 資料：2013年-2023年予測はメタルズフォーカス、2024年以降はWPIC リサーチ

一方で、[WPICの分析によるとパラジウム市場は2025年から供給余剰](#)となり、2027年までに過剰となる予測量は27.9トン。

プラチナとパラジウムはどちらも多金属鉱石として、ロジウムなどその他のPGMとともに採掘され、プラチナ、パラジウム、ロジウムのどのメタルも、自動車触媒で有害な排気物を浄化する触媒の役割を果たす。それぞれ特徴はあるが、白金族金属として似た性質を持っているため、自動車触媒も含む様々な用途で互いに互換性がある。



パラジウムは2025年から供給余剰に。資料：2013年-2022年はメタルズフォーカス、2023年以降はWPIC リサーチ

コモディティーの価格は需給の不均衡に影響を受けるが、供給余剰の場合は、採算の取れない供給が減るまで、あるいは新たな需要を誘い出すまで価格が下がるのが通常だ。反対に供給不足の場合は、新たな供給を市場に誘い出すまで価格が上がるか、あるいは価格が高騰しすぎて需要が消滅してしまうかである。多金属鉱石として PGM を含む鉱石の場合、製品の経済的価値を決める要因が複数あるため、鉱山供給が特定のコモディティーの状況に応じて調整されることはほとんどない。したがって PGM の鉱山供給は、ゼロとは言わないが価格弾力性が非常に低いことになる。

しかしプラチナとパラジウムは多くの分野で互いの代替として利用できるため、時間が経てばある程度、市場の不均衡は解消される。現に自動車分野では過去にも市場バランスが崩れた時には白金族金属の中で代替を繰り返してきた。

## 代替の逆行

2017年以降、パラジウムの価格はプラチナを上回るようになり、その価格差と（最近では特に）安定供給への不安から、自動車触媒でパラジウムの代替としてプラチナを使う動きが加速している。2023年終わりまでに、代替として使われるプラチナは過去5年間で推定 40.4 トンとされる。

プラチナが今年から供給不足の市場となり、パラジウムは2025年から供給余剰の市場となるという予測に基づき、WPIC はプラチナとパラジウムの価格差は縮小するとみている。そうなれば、プラチナをパラジウムの代わりに使う動きは弱まり、2025年からは逆に、パラジウムをプラチナの代わりに使う代替の動きが生じるだろう。

しかしパラジウムをプラチナの代替として使う動きは当初は少ないだろう。なぜならばコストと時間がかかる自動車触媒の代替は常にフルモデルチェンジの時にのみ行われ、一旦代替されるとそのモデルが継続する期間（通常は7年間）変更されることはないからである。従って、今行われているプラチナ代替は2025年にピークを迎え、それを今度はパラジウムに戻すには長い時間がかかることになる。それでも WPIC は、2027 年までにはプラチナの代わりに使われるパラジウムは11.4 トンに達し、その後も増えると予測している。

そうなれば、プラチナは2020年代半ばから後半にかけて急速に発展する水素経済を支える分野で利用することが可能になり、不足するプラチナがエネルギー転換の鍵となる PEM 技術のボトルネックになるという懸念は解消されることになる。

### Contacts:

Brendan Clifford, Institutional Distribution,  
[bclifford@platinuminvestment.com](mailto:bclifford@platinuminvestment.com) Edward Sterck, Research,  
[esterck@platinuminvestment.com](mailto:esterck@platinuminvestment.com)

Vicki Barker, Investor Communications, [vbarker@platinuminvestment.com](mailto:vbarker@platinuminvestment.com)

WPIC Japan [Japan@platinuminvestment.com](mailto:Japan@platinuminvestment.com)

Ziyang ZENG (Sophia), CFA

APAC Lead, Product Partnership, [szeng@platinuminvestment.com](mailto:szeng@platinuminvestment.com)



免責条項: © 2023 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び略称 WPIC は、World Platinum Investment Council Limited の登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複製、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。